

予算決算 特別委員会

9月24日から26日の3日間、予算決算特別委員会において平成25年度一般会計をはじめとする決算案件11件と平成26年度一般会計補正予算(第3号)について審査しました。質疑の主な内容は次のとおりです。

平成25年度 一般会計歳入

問国は地方交付税において地域経済雇用対策費を平成24年度から措置しているが、平成25年度はどうだったのか。
答地域経済雇用対策費は国の歳出特別枠として平成24年度から平成26年度までの間、措置される臨時費目であり、平成25年度の算定にあたっては、農業産出額や製造品出荷額、自主財源比率、人口密度、高齢者人口比率による係数から算定

平成25年度 一般会計歳出

されている。算定額は21億8千万円というところで、前年から約9千万円減っているが、本市においては人口密度において特に有利な算定となっている。

総務費

問監査委員からの指摘事項の中で、市営住宅の退去に伴う修繕費について債権管理の適正に関する指摘があったが、市営住宅使用料の収入未済額対策も含めて今後の対応はどのように考えているのか。
答収入未済額については、特に過年度の分を増やしていかないように保証人等への対応も強化していくよう考えている。退去に伴う修繕費については、退去者との話し合いによって入金された時点で調定を行っていた。債権管理は担当課でしっかりと行っていたが、指摘があったことから市全体として管理していく考えである。

問普通財産における物品処分20件の内容と売却の方法は。
答公用車等の更新に伴う売却等である。売却については入札によって一番高く入札されたところに売却している。
問職員研修における英語研修への参加状況とその成果は。
答100%近い参加率となっている。英検準2級の合格者が約2割、3級程度が6割と着実に成果は上がっている。
問ペレット燃料購入助成件数は56件で、前年度の73件より減っているが、どのように捉えているのか。
答この制度は3年間利用できる制度であるが、ペレット燃料の価格が安くなってきた中で、申請に手間がかかることも考えられる。

民生費

問留守家庭児童対策事業はニーズが高まっていると考えるが、決算額5,714万円で十分なのか。
答要望があることは認識しており、検討の余地がある。現在3年生までという中では対応できていると考えている。

問手話奉仕員が増えているが、資格はどうか。
答十分とは考えていないが、できる限りのPRをしてきた。今後こうした流行が発生した時期に最善の取り組みをさせていただきたい。

衛生費

問風疹予防接種の接種

状況は。また、周知はどのように行われたのか。
答予算では1,000人を見込み、対象者も増やしたが、申し込みがなかった。広報等で周知したほかに3月に最後となる旨の広報を行った。
問風疹予防接種に対する県の補助期間の終了に伴い市においても補助が終了したが、このような接種状況で十分と考えているのか。
答十分とは考えていないが、できる限りのPRをしてきた。今後こうした流行が発生した時期に最善の取り組みをさせていただきたい。

農林水産業費

問学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率は64%であるが、前年度から伸びていない理由は。
答学校給食に関しては利用促進に向けて色々と協議しているが、大

商工費

問大規模店の出店が増えている。大型店と小規模店のバランスなど、商業形態の変化についての対応は。



木のおもちゃで遊ぶ園児(岡本保育園)

量に調理をする必要があり、1次加工したものを使う場合、高山市内に加工して届ける事業所等がないことから地元食材を使えないことが課題である。
問木育推進について今後はどのように考えているのか。
答昨年度から木のおもちゃの配布を始めたが、配布後のアンケートでは、好評であることから、要望に基づき今後事業を推進したい。